

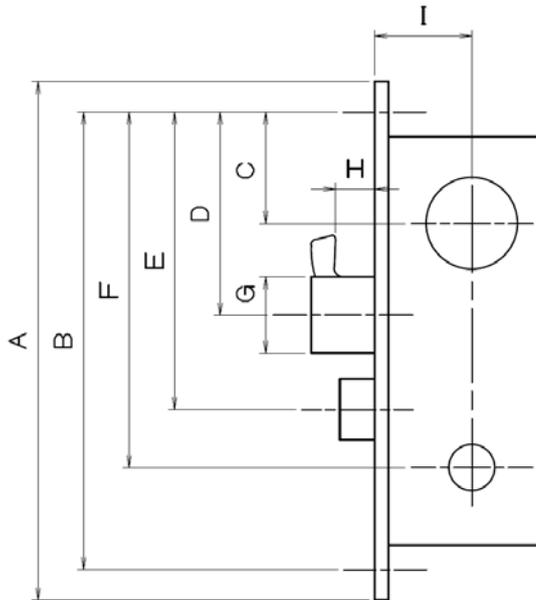
1. 対象製品

アルミ勝手口ドア用レバーハンドル錠

略称：CjK 錠

2. 標準(共通)化の部位

アルミ勝手口ドア用レバーハンドル錠の標準(共通)化の部位を図1に示す。



- A：フロント高さ
- B：ケース取付ピッチ
- C：シリンダー高さ位置寸法
- D：デッド高さ位置寸法
- E：ラッチ高さ位置寸法
- F：ハンドル高さ位置寸法
- G：デッド幅寸法
- H：鎌部チリ寸法
- I：バックセット

図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

アルミ勝手口ドア用レバーハンドル錠の標準(共通)化の標準寸法は、表1に示す2種類とする。

表1－各部位の寸法

項目	単位：mm	
	①	②
A：フロント高さ	148	165
B：ケース取付ピッチ	130	145
C：シリンダー高さ位置寸法	32.5	29.5
D：デッド高さ位置寸法	49	54.1
E：ラッチ高さ位置寸法	72.5	80.8
F：ハンドル高さ位置寸法	97.5	109.5
G：デッド幅寸法	23	24.8
H：鎌部チリ寸法	9.6	10
I：バックセット	32	

4. 表示方法

印刷物・電子媒体などに、当該製品が長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 対象範囲

- ・樹脂複合用の製品は対象外とする。

5.2 関連部材について

- ・関連部材が具備すべき条件については長住協HP等で確認する。

6. 解説

6.1 レバーハンドル錠

- ・レバーハンドルが取り付け、ラッチボルト、デッドボルトを操作する機能を有し、キーまたはサムターンで施解錠できる錠。

7. 共通事項

7.1 寸法について

- ・寸法は基準値を示し、公差・許容差を表わすものではない。

7.2 交換について

- ・交換については、専門知識を有する者が行なう事を推奨する。
注記 専門知識を有する者とは：専門知識、技術、経験を有する者である。

8. 改訂履歴

8.1 2017年1月26日改訂

- ・”表1－各部位の寸法”のD, E, F寸法の訂正